

情報工学専修 ガイダンス

藤代 一成
専修主任



2018.04.03 @12-210

Copyright © Keio University



課題研究発表(11月)ガイドライン



1. 発表すべきこと(10分+Q&A 5分)

- ・関連研究のサーベイ: 関連論文を最低3本(原則, 他のグループで英文論文)は挙げて, 自身の修論研究の位置づけや意義を明確化
- ・研究テーマの提案: 準備・進捗状況を示しながら, 具体的内容について記述
- ・今後の方針: 今後の方向性やプラン(発表も含むタイムライン)を呈示

2. その他

- ・卒論の参照: 修論は卒論とは別なので, 原則卒論の内容を話してはいけない. ただし, その内容が, 修士論文研究の準備に相当するとか, 発案にあたっての関連研究であるとか, 何らかの意味で修論研究に関連する場合に限り, 言及は認めるが, その場合でも発表時間の大半を卒論研究の内容の紹介に費やしてはいけない.
- ・ResumeシステムへのPDFのアップロード: 発表前日までにPDFファイルのアップロードを完了しておくこと. システム上タイムスタンプが残るので, 場合によっては減点もあり. なお, 研究業績(可能ならドラフト付で)もPDFに含める.

特別研究第1：学内発表会



- 課題発表(M1:11月)
- 中間発表(M2:6~7月)
- 修士論文発表(M2)
 - ✓ 前期発表(12月)
 - ✓ 後期発表(2月)

他流試合のススメ



- Peer review: 研究評価の原点
- 対外発表は標語「S」取得の必要条件
(専修独自の規約)
- 就職・進学への弾み
- 各種奨学金取得・返還免除を有利に



定義: 定期刊行物内で過去5年間に出版されたh件の論文は最低h回の引用あり

	出版物	<u>h5-指標</u>
1.	ACM Transactions on Graphics (TOG)	<u>78</u>
2.	IEEE Transactions on Visualization and Computer Graphics	<u>56</u>
3.	Computer Graphics Forum	<u>47</u>
4.	Computers & Graphics	<u>28</u>
5.	The Visual Computer	<u>25</u>
6.	ACM SIGGRAPH/Eurographics Symposium on Computer Animation	<u>22</u>
7.	IEEE Computer Graphics and Applications	<u>21</u>
8.	IEEE Symposium on Visual Analytics Science and Technology	<u>19</u>
9.	IEEE Pacific Visualization Symposium	<u>19</u>
10.	Computer Aided Geometric Design	<u>19</u>



- 必要条件 : Google Scholar h5 index > 40
- 専修の教員によって, 分野ごとに学術誌・国際会議を選定
- 最新リストは, 指導教員経由で閲覧可



特別研究第1中間発表(6月下旬~7月上旬)・課題研究発表(11月)

- 他の研究室の発表を聞き, A4X1枚程度のレポートをkeio.jp経由で提出
- 出席点扱いとして位置づけ
- 自身の研究との関連性
- 特定の発表の発表者へのフィードバック(匿名で指導教員経由で当人に伝達)